

# 平成16年度拠点大学交流事業実施報告

## 研究活動の概要

- 現地調査や定点観測を続けるとともに、必要に応じて日中双方で分担実験も実施し、結果の解析や研究論文の取りまとめ・公表を行った。
- 4回目になる日中合同公開セミナーを鳥取大学乾燥地研究センターにおいて開催し、研究成果の公表と検討、課題別研究打合せ及び事業全体の研究の方向性と工程についての微修正を行った。

## 成 果

### 研究者交流

- 日中間で来年度の全体実施計画、後半（第6年次以降）の研究実施方法の検討及びそれを踏まえた課題間の参加者の入れ替え、17年9月開催予定の日中合同セミナーの実施方法・内容などについて協議した。
- 新疆農業大学（中国）と学術交流協定を締結し、その中で同大に「日中乾燥地研究共同実験室（仮称）」を設置すること、17年度から長期間滞在研究者の交流を実施すること等を取り決めた。

### セミナー

セミナー名：2004年度中国内陸部の砂漠化防止及び開発利用に関する日中合同セミナー

開催時期：平成16年11月4～5日

開催場所：鳥取大学乾燥地研究センター

開催の成果：第1日目：中国側研究者の山侖中国工程院院士による特別公演、研究成果の発表（口頭発表（日本側5題、中国側5題）、ポスターセッション（日本側12題、中国側12題）計34題）

第2日目：日中双方の研究者による課題別討議と全体会議（課題別報告、全体討議）を行い、本年度の取りまとめや次年度以降の研究計画等について討議

### その他

- 若手研究者の本年度延べ訪中人数：大学院学生：22名、ポスドク：14名（本事業外の経費による訪中を含む）
- 公開勉強会「黄土高原セミナー」を開催（月1回程度）